

平成27年5月26日 会頭記者会見 発言要旨

時事の話題

大阪都構想は結果として否決されたが、多くの市民が地域のあり方に関心を持ち、票を投じた意義は大きい。京都では府と市の協調が進んでいるが、常に改革の意識を持って課題を共有し、オール京都の視点で速やかに改革を実行することが必要だ。京都創生のためのまちづくりのビジョンを共有し、限られた財源のもとで、府民・市民にとって最適なサービスを提供できるよう、議論してもらいたい。大阪都構想は大阪府に権限と財源を集める効率重視の発想であって、住民サービスの切り捨てになりかねない内容があったのではないか。住民に身近なところに仕事や財源を移して、住民の幸せ、心の豊かさを重視する発想で意思決定していくことが必要だ。京都を全国に先駆けた行政モデル都市にするため、府・市協調で必要な改革を加速して取り組んでもらいたい。

2015年3月期決算では、企業収益と貿易が好転しており、京都では輸出型の大手製造業を中心に過去最高益を記録する企業が相次いだ。こうした企業が牽引役となって、円安で膨らんだ収益を設備投資や賃金、配当、あるいは下請け企業への取引単価引き上げなどで還元することによって、好循環が実現していくことを期待したい。今年の景気予想は、企業の生産性向上を後押しする設備投資が拡大するかどうかを鍵となる。一方、府内の中小企業の現場に目を向けると、依然として原材料高や人手不足によるコスト増が大きな負担となっている。会員企業からもそうした声を耳にしており、コスト増が利益を圧迫する構造はほとんど変わっていない。

地域の雇用を担う中堅・中小企業の成長なくして、地方創生の実現はありえない。オール京都で知恵産業を推進し、地域に密着した中小企業の競争力を強化するとともに、首都圏や海外など京都の外から稼ぐ力を伸ばすことによって、雇用や人口への波及効果を高めなければならない。京都が全国の地方創生をリードするために、最重要課題である中小企業支援についても、まさに府・市協調の真価とオール京都の知恵が求められている。

なお、全線開通が7月18日に決まった京都縦貫自動車道は、京都企業の更なる発展に向けた経済活動と、均衡ある京都府域の発展を図っていく上で極めて重要であり、その効果・役割に大きな期待を寄せている。府内の商工会議所からも期待の声が強く、特に南北につながるイノベーションベルトを通じて、観光客をはじめとした人やモノの流れが飛躍的に増え、大きなビジネスチャンスになると期待している。

京都商工会議所の動き

■京都知恵産業フェア2015について

本所や京都府・京都市などが参画する京都産業育成コンソーシアムでは、これまで知恵産業の育成にオール京都で取り組んできた。昨年度末で、知恵ビジネスに関連する認証企業は延べ1380社を超え、知恵ビジネスのすそ野が着実に広がってきている。今後、知恵ビジネスに取り組む企業の更なる成長を図るには、共通する課題である販路開拓を支援することが重要であることから、行政や産業支援機関が行ってきた、あらゆる販路開拓事業を再構築し、京都産業育成コンソーシアムのもと、首都圏販路開拓事業をオール京都で初めて実施することになった。琳派の精神が息づく京都から、新しいライフスタイルを全国に向け発信・提案するとともに、今年2月に本所が単独で開催した「京都知恵ビジネスメッセ」で得たノウハウを本事業に活かしていきたい。

これは、府や市、経済団体や産業支援機関など、地域の関係者がスクラムを組んで、地域経済の活力創造に主体的に取り組むものであり、京都創生に向けた象徴的な事業であるとともに、ニュー京商ビジョン・サードステージで掲げた知恵の連鎖による「知恵産業の森」づくりへのアプ

ローチである。全国に先駆けたこの取り組みに対して、国からも評価をいただき、力強いバックアップを得たところである。本事業を通して中小企業をしっかりとバックアップしていきたい。

また、国内外で活躍するデザイナー等とともに、新商品の開発と販路開拓を支援する「国内販路開拓プロジェクト」の参画事業者も募集しているので、併せて協力をお願いしたい。

記者からの質問事項

■京都府・市が協調するにあたって、現状として具体的な課題などがあれば教えてほしい。

京都産業育成コンソーシアムのように、行政や経済界、関係機関が組織を越えてプロジェクトを一本化していく課題やテーマがあると思う。必要があれば、府・市に要望・提案していきたい。

■賃上げの動きが広まっているが、どのように受け止めているか。

先端産業や輸出型産業における企業の賃上げは、政府の期待に応えられる水準に決まってきた。中小企業の賃金交渉は続いているが、従来以上に大企業の動きが中小企業にも反映されていくのはいか、と期待している。

■関西電力による電気料金の再値上げが認可されたが、企業経営や個人消費への影響について、お伺いしたい。

景気回復を本格化させるためには、企業活動の活性化や企業収益の向上によって賃上げの動きをさらに広げ、消費を増やしていかなければならない。今回の再値上げは、こうした好循環に向けた動きに水を差すものであり、京都企業への影響はもちろん、関西経済が日本の成長から取り残されることにもなりかねないと懸念している。電力消費が多い夏場の値上げ率を抑えたとはいえ、2度の値上げによる2割近い負担の増加が企業の経営に与える影響は大きい。電力コストの上昇分を販売価格に転嫁できていない中小企業も多く、節電や生産性向上、自家発電装置の導入といった経営努力による対応にも限界がある。

電力会社には、徹底した合理化・効率化と、さらに身を切る経営努力を求めるとともに、安価で安定的なエネルギー供給を早期に確立するために、安全性の確保された原発の再稼働をぜひ進めていただきたい。

個人消費への影響が予想されるが、消費税率が10%へ引き上げられる来年までに、景気回復による増税環境の下支えが実現できるか、今後の焦点になるだろう。

■京都市議会で議論されている四条通のあり方について、会頭の考えを教えて欲しい。

春の桜のシーズンには交通渋滞が目立ったが、ゴールデンウィーク期間中は、ほぼ昨年並みで推移したと聞いている。四条通の迂回誘導を促す取り組みが広く認知され、浸透していったものと受け止めている。

現在会期中の市議会では、四条通のあり方について議論されているようだが、状況に応じて必要な対策を講じながら、四条通へのバスあるいは自家用車の車両流入の抑制に向けた取り組みを引き続き京都市としても周知・徹底していかれるものと思っている。

短期的に見れば渋滞が問題視されているが、門川市長が提唱する「歩くまち・京都」を実現するための試金石であり、長期的な視点をもって判断していくべきと考えている。基本的には賛成して、協力できるものには協力していきたい。

■**四条通の迂回について、地元の方には周知できているようだが、京都の外から来られる方への周知はまだまだのようだ。そのあたりの課題について、どのようにお考えか。**

京都市においても、他府県ナンバーの車両への迂回誘導を徹底するとともに、秋頃からはカー・ナビゲーションでも四条通を極力通過しないように誘導していくようだ。この1年間で課題解決に向けて努力し、その結果を見ていきたいと思っている。

■**5月27日、けいはんな学研都市にサントリーの新たな研究開発拠点ができる。会頭も京都の外からの投資を積極的に呼び込みたいとおっしゃっていたが、企業立地のあり方について、ご意見を伺いたい。**

けいはんな学研都市ができて30年近くになるが、不況の時期を乗り越えながら、研究開発・生産機能向上に取り組む企業の立地が進んでいる。今回の進出がひとつのシンボリックな取り組みとなり、他社の進出を促進することにつながるのではないかと。

以 上

京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～
事業概要並びに出展事業者の募集開始・募集説明会の開催について

京都産業育成コンソーシアム

<事業実施概要>

- 1 名称 京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～
- 2 趣旨 京都の伝統や文化を背景に、独創性、先駆性、高品質性など知恵を活用した商品やサービスを、世界中の商品が集まる消費・流通の一大中心地・首都圏において、オール京都の総力を挙げてバイヤーや消費者に提供する初めての試み。
- 3 開催日 平成27年11月5日（木）～平成27年11月8日（日）
- 4 会場 東京丸の内 KITTE
- 5 主催 京都産業育成コンソーシアム 京都知恵産業フェア実行委員会
(実行委員会構成メンバー)
委員長 京都商工会議所専務理事
委員 京都府商工労働観光部長、京都市産業戦略監、京都工業会専務理事、
京都産業育成コンソーシアム常任幹事・事務局長
監事 京都産業21専務理事、京都高度技術研究所専務理事

6 事業の詳細

	BtoB（展示商談会）事業	BtoC（展示販売会）事業
概要	バイヤーやメディアを対象にした展示商談会を開催。京都ならではの技術、伝統、デザイン、感性、物語性など知恵が活用された商材を集めることにより、多様性に富んだ新しい京都ブランドを発信するとともに、事前の商談斡旋活動も行いながら、成約率の高い商談会を目指す。	一般消費者を対象にした展示販売会にて、商品販売と併せてPRや消費者の反応確認（マーケティング）を実施。既に一定の消費者ニーズを有する商品のステップアップの機会と位置付け出展者を募るとともに、明確にテーマ設定した打ち出し・レイアウトを行うことで、PR・マーケティング機能の充実に図る。
開催日時	平成27年11月5日（木） 11時～19時（予定） 平成27年11月6日（金） 10時～17時（予定）	平成27年11月7日（土）・8日（日） 共に11時～19時（予定）
開催場所	KITTE JPタワー&カンファレンス 4Fホール	KITTE アトリウム（1F） 東京シティアイ イベントスペース（B1F）
出展見込数	知恵ビジネスに取り組む事業者 100社程度（予定）	知恵ビジネスに取り組む事業者 50社程度（予定）
来場見込数	首都圏バイヤー等 850名（予定）	一般消費者等 15,000名（予定）

<出展事業者 募集要項>

1 募集期間

平成27年5月26日（火）～6月19日（金）午後5時受付分まで<時間厳守>

2 募集内容

	BtoB（展示商談会）事業	BtoC（展示販売会）事業
事業者数	100社程度（予定）	50社程度（予定）
商材等	①ホーム&ファッション ②ライフスタイル ③マテリアル ④ビューティー&コスメ ⑤スイーツ&フード(出展には一部制約があります) ⑥観光&コンテンツ	①ホーム&ファッション ②ライフスタイル ③ビューティー&コスメ ④スイーツ&フード(出展には一部制約があります) ⑤伝統工芸 ⑥観光&コンテンツ

3 応募方法

それぞれ「京都知恵産業フェア2015応募申請書」に必要事項を記入の上、期日までに持参またはE-mailに添付で、京都知恵産業フェア実行委員会事務局まで提出ください。
(郵送・FAXでは受付いたしませんのでご注意ください)

4 申請書提出先

京都知恵産業フェア実行委員会事務局（京都産業育成コンソーシアム内）
〒604-0862 京都市中京区烏丸夷川上ル 京都商工会議所ビル6階
TEL：075-211-1880 E-mail：kyoto-conso@kyo.or.jp

<出展事業者募集説明会の開催概要>

1 日 時：6月1日（月）15時30分～17時（受付は15時～）

2 場 所：京都商工会議所（3階）講堂

3 内 容：京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～事業概要説明
京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～出展事業者募集に関する説明
その他

4 対 象：首都圏への販路開拓に取り組む事業者

5 定 員：300名（先着順／定員になり次第締め切ります）

6 申込み：（1）FAX（2）メール（3）WEB いずれかの方法で下記までお申込みください
京都知恵産業フェア実行委員会事務局（京都産業育成コンソーシアム内）
〒604-0862 京都市中京区烏丸夷川上ル 京都商工会議所ビル6階
TEL：075-211-1880 FAX：075-211-1881 E-mail：kyoto-conso@kyo.or.jp



京都知恵産業フェア2015

【B to B】展示商談会

出展事業者募集要項

出展募集 平成27年5月26日(火)～平成27年6月19日(金)

主催 京都知恵産業フェア実行委員会
(京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会、
京都産業21、京都高度技術研究所)

今に生きる、千年の知恵。

古都・京都には、長い年月をかけて磨き上げられてきた技術や素材、ノウハウに、現代的な創意工夫を取り込んだ独創的なビジネスがたくさんあります。

京都の行政、産業支援機関によるオール京都体制で支援している知恵産業は、知恵の認証制度を受けている企業が1300社を超えるなど、その裾野は拡大し続けています。

これら知恵産業が、京都の特性や企業の強みを活かしながら、多様な産業群として成長していくためには、企業の発展段階に合わせた成長支援の展開と、販路の開拓が大変重要になってきます。

そこで、行政や産業支援機関がそれぞれにおいて展開する販路開拓事業を再構築することでより高い支援効果を期待できる「京都知恵産業フェア」を、消費・流通の一大拠点である首都圏において実施することにより、企業の顧客創造・販路開拓を目指します。

折しも、今年の本阿弥光悦が鷹峯に光悦村を拓いてから、400年を迎える節目の年にあたります。時代時代に新しい感性を創造してきた琳派。「京都知恵産業フェア」においては、琳派の精神が息づく京都から、新しいライフスタイルを提案する京ものを一堂に集め、京都の魅力発信を行います。

効果のある展示商談会にしていきたいと考えていますので、皆様のご応募を心よりお待ちしております。

〈本展示商談会の特徴〉

趣向を凝らした展示構成で、商品の訴求力を高めるとともに、京都府・京都市及び京都の産業支援機関のネットワークと情報発信により、数多くの首都圏のバイヤー、メディア、企業関係者の来場を図ります。

出展者とバイヤーは会場内において常時スムーズな商談が可能です。

また、京都の行政・産業支援機関の各種経営支援事業と連動させながら、出展者の販路開拓の効果を高めます。

展示商談会概要

■会期

平成27年11月5日(木) 11～19時
11月6日(金) 10～17時

■会場 KITTE

(東京都千代田区丸の内二丁目7番2号)
東京駅徒歩1分

■事業コンセプト

京都の伝統に培われた技術や素材、知恵を活かしつつ、
現代の新しい感性や価値観を満たそうとする意欲的な
事業者や商材が集う展示商談会

■出展者数 100社程度

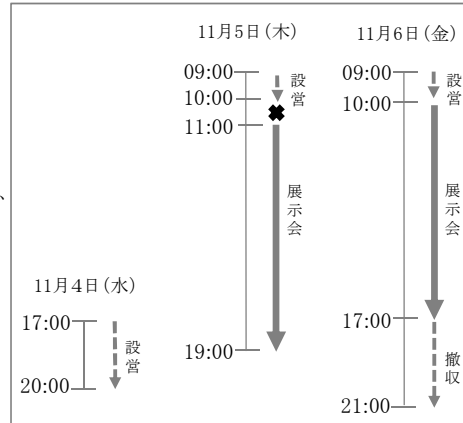
■参加料 3万円(税抜)

参加料として下記内容が含まれています。それ以外は自社
負担となります。また、出展が決定しましたら参加料を請求致
します。

・基本小間代 ・レセプションの参加費

■来場者 <入場無料>

目標850名 ※主に首都圏のバイヤー、メディア、設計事務所、企業関係者



募集内容・申請方法

■対象事業者

京都の素材や技術、知恵、自社の強みを活用することで、現代ニーズに沿った付加価値の高い商品
の開発や販路開拓に取り組む京都の中小企業

■募集数 100社程度

■募集分野 ファッション、ライフスタイル、スイーツ&フーズ、ビューティー&コスメ、マテリアル、 観光&コンテンツなど

■申請方法

平成27年6月19日(金)までに、下記①②③を実行委員会事務局まで持参もしくはe-mail(kyoto-
conso@kyo.or.jp)にて送信してください。郵送・FAXでの受け付けは致しませんのでご注意ください。

①応募申請書 京都産業育成コンソーシアムHP(下記URL)から応募申請書をお取りください。

<http://www.kyoto-conso.jp/news/003672.html>

②出展希望の商品や商品ストーリーが分かる写真データ 2～4点程度

③【任意提出】出展希望の商品や商品ストーリーが分かるパンフレット(PDF可)

■選考

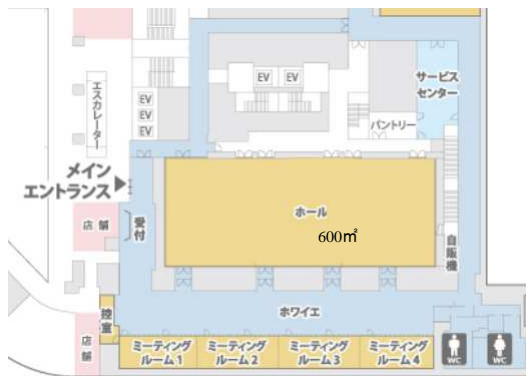
出展者選考を行います。選考結果は7月初旬までに文書で各申請者に通知します。

(選考基準) ・自社の強みや京都ならではの要素を活かした独創的な商品であるか

・マーケットのニーズに適合した商品であるか など

展示商談会場 JPタワーホール(4F)

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
東京駅徒歩1分



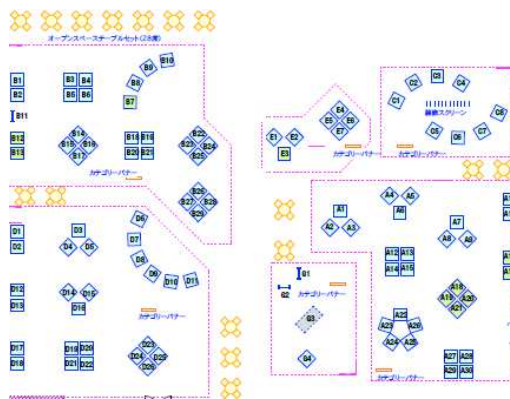
アクセス



100社程度の展示台、展示ステージと、商談席を併設することで、具体的な商談につながる場を創出します。

また、商材やターゲットに応じて、ゾーニングを行ったうえで、各社の展示台を配置します。

会場構成①



※出展者応募状況に応じて、ゾーンやレイアウトを検討・調整します



※写真・レイアウトは全て参考イメージです。

会場構成②

〈テーマカテゴリー例〉

- ファッション「京都流・大人スタイル」
刻々と変化するファッショントレンドの対極には、いつの世も変わることのない不易の美意識が存在しています。京都で紡がれてきた和の装いが見え隠れする、現代のファッションアイテムが勢揃い。
・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用したファッション商材 など

- ライフスタイル「心をこめたモノとコト」
京都には「豊かな時間」を実現する知恵が眠っています。心を込めた贈り物やおもてなし、心休まる設えや充実した毎日を過ごす趣味など、人生に彩りを添えるモノとコトを提案します。
・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用した生活財、ギフト商材 など

- マテリアル「RE:プロデュース」
伝統の素材を現代生活の視点からリ・プロデュースすることで、より豊かな暮らしを演出する新しいデザインや質感のマテリアルが誕生。使い方次第で、素材の可能性は無限に広がります。
・対象商材 建材、素材、中間財

会場構成③

〈テーマカテゴリー例〉

- ビューティ&コスメ「京美人を育てた秘訣」
花街や王朝に育まれた艶やかな華飾の世界、実は洗練された“素”の美しさに支えられています。京都の素材と技を駆使し、心と体はもちろん、自然環境にも優しいアイテムで永遠のテーマに応えます。
・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用したファッション商材 など

- スイーツ&フード「京美人を育てた秘訣」
豊かな食材、水、製法へのこだわりから生み出される京都の逸品。料理職人の手技や京の伝統野菜など、舌の肥えた消費者を満足させる食文化の創造で、新しい味わいを提案します。
・対象商材 新感覚のスイーツ・フード・調味料・ドレッシング など

- 観光&コンテンツ「暮らすように楽しむ京都」
訪れるたびに新たな発見がある、お仕着せでない京都体験。観光地を巡るだけとは違う、新たな京都時間の過ごし方。ますます高まるインバウンド観光のニーズに対応します。
・対象商材 エンターテインメント、アート・文化、体験型観光サービスなど

小間の基本設備

● 基本小間のタイプ 900mm × 900mm (予定)

ステージタイプ・展示台タイプなど基本小間のタイプから、貴社の商材に適したものを選択して頂きます。(基本小間のイメージは後日お知らせ致します)。
なお、いずれの場合も、展示スペースが限られていますので、自社の強みや特徴をよく表現した商品に絞り込んで配置してください。

- ※複数の小間を活用しての出展はできません。
- ※商談環境を維持するため、各小間での音声・音楽等の使用はお断りします。
- ※安全配慮上、出展者による展示台へのポスターまたパネル設置はお断りします。

経費について

- ・参加料3万円(税抜)には、基本小間代が含まれています。
- ・上記以外の経費(レンタル備品、電気工事、展示品の搬出入や制作にかかる費用、旅費、宿泊費、運送費など)は、すべて自己負担となります。

レンタル備品・電気工事について

- ・出展者運営説明会で、レンタル備品、電源工事にかかる詳細な説明と申込受付を行います。
- ・レンタル備品、電源工事代については、会期後に、会場施工委託会社から請求致します。

広報計画

首都圏及び全国のバイヤーやメディア等にご来場いただけるよう積極的な集客活動と情報発信を行います。

<ターゲット>

- ・バイヤー・メーカー(首都圏及び全国)
- ・メディア(専門紙、雑誌社、一般紙等)

<集客・広報活動>

- プレスリリース
 - ・記者会見、東京でのプレス、
 - ・PRワイヤー(各種メディアへのプレスサービス)
- 事務局によるバイヤー訪問
- バイヤー・メディアへのDM送付
- Webサイト・FB開設
- 各種媒体誌への掲載依頼
- 出展企業パンフレットの制作・配布

参考イメージ(京都商工会議所 知恵ビジネスメッセ2015より)

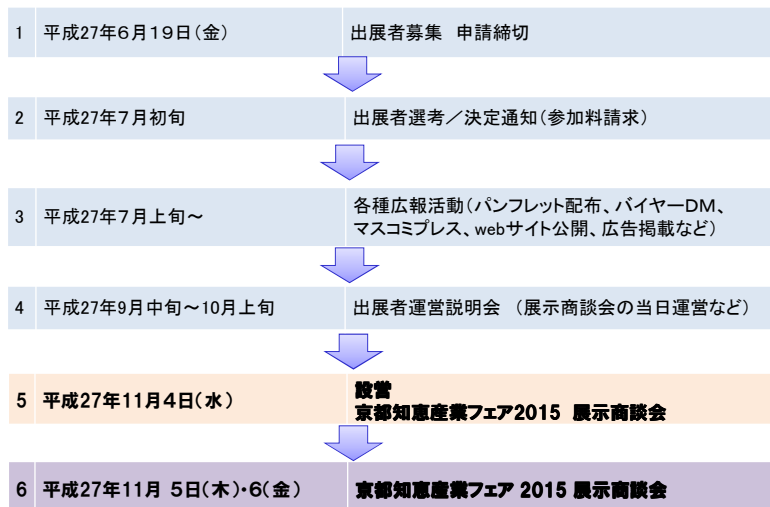


パンフレット

ホームページ

※出展者説明会の際に、詳細なスケジュールをお示し致します

主なスケジュール



注意事項①

主催者でイベント保険に加入しますが、出展者の責任で生じたトラブルや展示スペースで生じた事故等は補償外になります。各出展者の判断・責任で、イベント保険に加入するとともに、事故が生じた際は、自己責任でご対応をお願いします。

<キャンセルについて>

出展決定後に申し込みをキャンセルすることはできません。

<搬入・設営/搬出・撤去について>

搬入・設営/搬出・撤去はすべて出展者に行ってください。展示品の設営は必ず前日及び当日開場前の指定時刻(詳細は出展者運営説明会で発表)までに実施してください。なお、当日の展示商談開催中の搬入・設営作業はできません。また、展示品の搬出・撤去作業は、11月6日の展示会終了後(17時以降)に行ってください。開催時間中の撤去・搬出作業は認められません。

<展示について>

- ・開催期間中の展示品の管理は出展者の責任において行ってください。展示品の損害、盗難、紛失、破損等について主催者は一切責任を負いません。夜間等の開催時間外は会場を施錠します。
- ・展示時間中は、ブースにて展示品についてご説明頂ける方を必ず手配願います。
- ・出展者が、他社の小間、運営設備または展示会場の設備及び人身等に損害を与えた場合、その補償は該当出展者の責任において行うものとし、主催者は一切責任を負いません。
- ・出展者は割り当てられた小間の全部又は一部を有償無償で第三者に譲渡、貸与もしくは交換することはできません。

注意事項②

<食品の取り扱いについて>

・試食・試飲をされる場合、展示会場であるJP TOWER Hall & Conference管理責任者及び管轄の保健所に運営・衛生上の観点から商品ごとに事前許可をとる必要があります。試食・試飲を希望される方は、応募の前に必ず事務局に提供商品並びに提供方法、衛生管理方法について連絡してください。

・会場において水道・火器の使用はできませんので、調理を伴う食品の試食・試飲はできません。

・会場となるKITTEには多数の飲食テナントが入居しています。万一、本展示商談会に起因する食中毒が発生した場合、すべての飲食テナントが営業停止となり、その間の休業補償と信用毀損に対する賠償を本所に求められる可能性があります。食中毒を発生させた出展者には、主催者に請求された全部又は一部の賠償額を請求致しますのでご了承ください。

<危険物の持ち込みについて>

会場内への危険物の持ち込みを厳に禁止します。また、当会場内での火気(裸火)の使用を禁止します。

<その他>

・出展者説明会には必ずご出席ください。また出展者には、効果的な展示方法や首都圏での商慣行などに関する情報を提供できる勉強会を案内する場合がありますので、併せてご参加頂きますようお願いいたします。

・主催者は、災害をはじめとした不可抗力により、会期の変更・開催の中止によって生じた出展者及び関係者の損害は補償しません。

お申し込みいただいた時点で、本出展募集の各項目についてすべて同意頂いたものとします。

参考：26年度実施 B to B 首都圏販路開拓事業実績

■事業名 知恵ビジネスメッセ2015“Next Kyoto Selection”
日時 平成27年2月17日(火)16:00～19:00 (17:00～ レセプション)
18日(水)10:00～18:00

会場 スパイラルホール (東京都港区南青山5-6-23)

主催 京都商工会議所

後援 京都府、京都市、(独)中小企業基盤整備機構、(公財)京都産業21
(公財)京都高度技術研究所、京都産業育成コンソーシアム

協力 ファッション京都推進協議会

来場数 650名 (首都圏のバイヤー、メディア、設計事務所、企業関係者)

小田急百貨店、京急百貨店、京王百貨店、東急百貨店、大丸松坂屋百貨店、三越伊勢丹、阪急阪神百貨店、高島屋、岩田屋三越、フォーシーズンズホテル、ANAインターコンチネンタルホテル、エトワール海渡、丸井、東急ハンズ、ロフト、世界文化社、小学館、ハースト婦人画報社、清水建設、大成建設、大林組、鹿島建設、ユナイテッドアローズ、ワールド、日本文化センター、リンベル、全日空商事、日本スーパーマーケット協会 など (順不同)

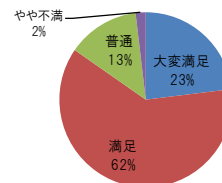
出展者アンケート結果(概要) 回答数53社

①知恵ビジネスメッセに出展した感想

大変満足	12社	満足	33社
ふつう	7社	やや不満	1社

②商談状況

商談件数 1社平均40社



問い合わせ

◆応募申請に関するお問い合わせ／提出先

京都知恵産業フェア実行委員会事務局（京都産業育成コンソーシアム内）

〒604-0862

京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6F

TEL 075-211-1880 FAX 075-211-1881

提出先メール:kyoto-conso@kyo.or.jp



京都知恵産業フェア2015

【B to C】展示販売会

出展事業者募集要項

出展募集 平成27年5月26日(火)～平成27年6月19日(金)

主催 京都知恵産業フェア実行委員会
(京都府、京都市、京都商工会議所、京都工業会、
京都産業21、京都高度技術研究所)

今に生きる、千年の知恵。

古都・京都には、長い年月をかけて磨き上げられてきた技術や素材、ノウハウに、現代的な創意工夫を取り込んだ独自のビジネスがたくさんあります。

京都の行政、産業支援機関によるオール京都体制で支援している知恵産業は、知恵の認証制度を受けている企業が1300社を超えるなど、その裾野は拡大し続けています。

これら知恵産業が、京都の特性や企業の強みを活かしながら、多様な産業群として成長していくためには、企業の発展段階に合わせた成長支援の展開と、販路の開拓が大変重要になってきます。

そこで、行政や産業支援機関がそれぞれにおいて展開する販路開拓事業を再構築することでより高い支援効果を期待できる「京都知恵産業フェア」を、消費・流通の一大拠点である首都圏において実施することにより、企業の顧客創造・販路開拓を目指します。

折しも、今年には本阿弥光悦が鷹峯に光悦村を拓いてから、400年を迎える節目の年にあたります。時代時代に新しい感性を創造してきた琳派。「京都知恵産業フェア」においては、琳派の精神が息づく京都から、新しいライフスタイルを提案する京ものを一堂に集め、京都の魅力発信を行います。

効果のある展示販売会にしていきたいと考えていますので、皆様のご応募を心よりお待ちしております。

〈本展示販売会の特徴〉

趣向を凝らした商品構成で訴求力を高めるとともに、京都府・京都市及び京都の産業支援機関のネットワークと情報発信により、首都圏顧客の来場を目指します。

出展者が来場者とのコミュニケーションを図りながら販売を行う事で首都圏における本格的なテストマーケティングも可能です。

また、京都の行政・産業支援機関各種経営支援事業と連動させながら、出展者の販路開拓の効果を高めます。

展示販売会概要

■会期

平成27年11月7日(土) 11～19時
11月8日(日) 11～19時

■会場 KITTE

(東京都千代田区丸の内二丁目7番2号)
東京駅徒歩1分

■事業コンセプト

京都の伝統に培われた技術や素材、知恵を活かしつつ、
現代の新しい感性や価値観を満たそうとする意欲的な事
業者や商材が集う展示販売会。

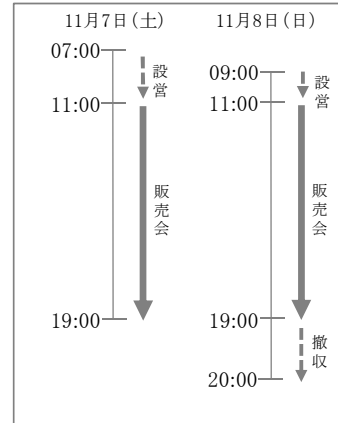
■出展者数 50社程度

■参加料 5,000円(税抜)

■納入掛け率 販売価格(税込)の80%

■『売り場』来場見込数

首都圏一般消費者 15,000名 (『施設』来場見込数:120,000名)



募集内容

■対象事業者

京都の素材や技術、知恵、自社の強みを活用することで、現代ニーズに沿った付加価値の高い商品
の開発や販路開拓に取り組む京都の中小企業。

■募集数 50社程度

■募集分野 ファッション、ライフスタイル、スイーツ&フーズ、ビューティー&コスメ、伝統工芸品、 観光PRなど

■募集商品

- 京都限定感のある商品。京都産、国産が望ましい。
- 京都ならではの技術、伝統、デザイン、感性、物語性などの文化的価値を有している商品。
- 品質や搬送時の安心・安全性が担保されている商品。
- 製造物責任(PL)法に基づく生産物賠償責任保険に加入していること。
- 本事業のコンセプトに適合する商品。

■応募資格

- 京都府内に事業所を有する事業者。
- 原則として、アテンド販売方式に対応可能であること。
- 法令、公序良俗に違反していないこと。
- 暴力団もしくは暴力団員の統制の下にある団体でないこと。

申請・選考方法

■申請方法

平成27年6月19日(金)までに、下記①②③を実行委員会事務局まで持参もしくはe-mail(kyoto-conso@kyo.or.jp)にて送信してください。郵送・FAXでの受け付けは致しませんのでご注意ください。

- ①応募申請書 京都産業育成コンソーシアムHP(下記URL)から応募申請書をお取りください。
<http://www.kyoto-conso.jp/news/003672.html>
- ②出展希望の商品や商品ストーリーが分かる写真データ 2~4点程度
- ③【任意提出】出展希望の商品や商品ストーリーが分かるパンフレット(PDF可)

■選考方法

出展者選考を行います。選考結果は7月上旬に文書で各申請者に通知します。

- 選考については、応募申請書による書類選考です。
- 応募申請書及び参考資料は原則として返却いたしません。
- お預かりした情報については事務局で厳重な管理をいたします。
- 必要に応じてサンプル品のご提出依頼や商品について問い合わせを行う場合があります。
- サンプル提出に伴う送料などは出展社のご負担となります。
- 食品や消耗品サンプルは返却できない場合があります。

展示販売会場 アトリウム(1F)
及び東京シティアイ(B1F)

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
東京駅徒歩1分



1階
アトリウム
(300㎡)



B1階
イベントスペース
(200㎡)

アクセス



1階及び地下1階の2会場に販売ブースを設置。

商材テーマに応じたゾーニングを行うと共に、琳派400年を意識した装飾を施すことで、在京の京都ファンはもとより、施設利用客のブースへの誘客を図ります。

会場構成①



展示会場のイメージ



※出展者応募状況に応じて、ゾーンやレイアウトを検討・調整します

会場構成②

〈テーマカテゴリー一例〉

■ファッション「京都流・大人スタイル」

刻々と変化するファッショントレンドの対極には、いつの世も変わることのない不易の美意識が存在しています。京都で紡がれてきた和の装いが見え隠れする、現代のファッションアイテムが勢揃い。

・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用したファッション商材 など

■ライフスタイル「心をこめたモノとコト」

京都には「豊かな時間」を実現する知恵が眠っています。心を込めた贈り物やおもてなし、心休まる設えや充実した毎日を過ごす趣味など、人生に彩りを添えるモノとコトを提案します。

・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用した生活財、ギフト商材 など

■ビューティ&コスメ「京美人を育てた秘訣」

花街や王朝に育まれた艶やかな華飾の世界、実は洗練された“素”の美しさに支えられています。京都の素材と技を駆使し、心と体はもちろん、自然環境にも優しいアイテムで永遠のテーマに応えます。

・対象商材 京都ならではの技術や素材、知恵を活用したファッション商材 など

会場構成③

<テーマカテゴリー例>

■スイーツ&フード「京美人を育てた秘訣」

豊かな食材、水、製法へのこだわりから生み出される京都の逸品。料理職人の手技や京の伝統野菜など、舌の肥えた消費者を満足させる食文化の創造で、新しい味わいを提案します。

・対象商材 スイーツ・フード・調味料・ドレッシング など

■伝統工芸「連綿と受け継がれる京都の技術」

古都京都に途絶えることなく受け継がれる伝統工芸技術をベースとし、現代の知恵と技術が融合して生まれた温故知新を肌で感じることでできる新しい伝統工芸品を提案します。

・対象商材 伝統工芸技術を活用した小物、アクセサリ、 など

■観光PR「歴史と文化と自然を楽しむ京都」

歴史と文化はもちろん、京都には「森」「海」「お茶」もあります。

訪れるたびに新たな発見がある、新たな京都の楽しみ方をご提案します。

・パネル展示中心

展示・販売方法

● 基本ブース 900mm × 600mm (予定)

- ・各出展ブースに統一された出展社説明と商品説明POPを設置します。
- ・購入希望者は各商品を主催者が管理する集中レジに持参し、購入していただきます。
- ・会場内のレイアウト、商品説明POPなどのデザインなどについては主催者に一任いただきます。展示スペース、配置などの公平性には極力配慮いたしますが、出展者各位のご要望に添えない場合がありますので予めご了承ください。
- ・出展ブースに、販売員(説明員)を配置していただき、ブースでの商品説明や販売促進を行っていただきます。

経費について

- ・参加料5,000円(税抜)には、基本ブース代が含まれています。
- ・上記以外の経費(レンタル備品、電気工事、展示品の搬出入や制作にかかる費用、旅費、宿泊費、運送費など)は、すべて自己負担となります。
- ・納入掛け率:原則として販売価格(税込み)の80%。※残商品は出展社が引き取り。
売上金集計後、2週間以内に事務局が作成した売上報告書にて内容をご確認頂き出展者ごとの金額を確定。その後、出展者各位の指定銀行口座に販売手数料、振込み手数料を控除した金額を入金します。

レンタル備品・電気工事について

- ・出展者運営説明会で、レンタル備品、電源工事にかかる詳細な説明と申込受付を行います。
- ・レンタル備品、電源工事代については、会期後に、会場施工委託会社から請求致します。

広報計画

多くの方にご来場いただけるよう積極的な集客活動と情報発信を行います。

〈ターゲット〉

- ・首都圏一般顧客
- ・メディア(専門紙、雑誌社、一般紙等)

〈集客・広報活動〉

- プレスリリース
 - ・記者会見、東京でのプレス、
 - ・PRワイヤー(各種メディアへのプレスサービス)
- Webサイト・FB開設
- 首都圏における交通広告等の活用
- 各種媒体誌への掲載依頼

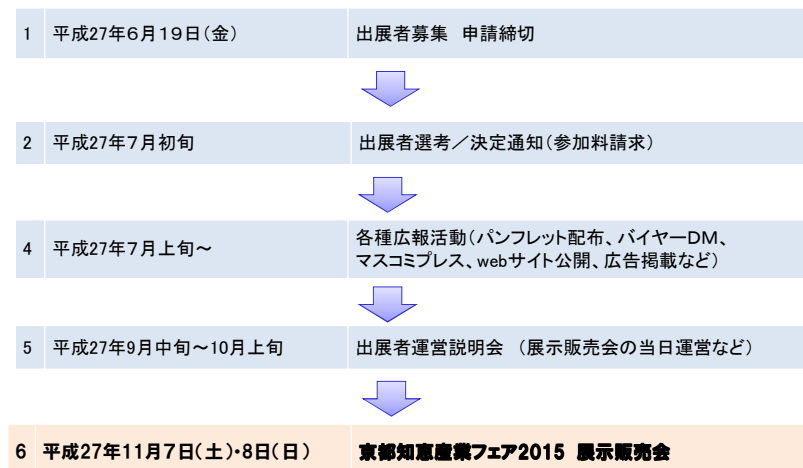
参考イメージ(京都商工会議所 知恵ビジネスメッセ2015より)



パンフレット

ホームページ

主なスケジュール



注意事項①

主催者にてイベント保険に加入しますが、出展者の責任で生じたトラブルや展示スペースで生じた事故等は補償外になります。各出展者の判断・責任で、イベント保険に加入するとともに、事故が生じた際は、自己責任でご対応をお願いします。

<キャンセルについて>

出展決定後は、申し込みをキャンセルすることができません。

<搬入・設営／搬出・撤去について>

搬入・設営／搬出・撤去はすべて出展者に行ってください。展示・販売品の搬入・設営は必ず11月7日の指定時刻(詳細は出展者運営説明会で発表)に行ってください。販売期間中の搬入・設営は認められません。また、展示品の搬出・撤去作業は、11月8日の販売会終了後(19時以降)に行ってください。19時以前の搬出・撤去作業も認められません。

<商品について>

- ・商品の管理は、出展者の責任において行ってください。事業期間中の展示品の損害、盗難、紛失、破損等について主催者は一切責任を負いません。夜間警備については主催者にて対応します。
- ・販売時間中は、ブースにて商品についてご説明頂ける方を必ず手配願います。
- ・出展者が、他社の小間、運営設備または展示会場の設備及び人身等に損害を与えた場合、その補償は該当出展者の責任において行うものとし、主催者は一切責任を負いません。
- ・出展者は割り当てられた小間の全部又は一部を有償無償で第三者に譲渡、貸与もしくは交換することはできません。

12

京都知恵産業フェア「展示販売会」

注意事項②

<食品の取り扱いについて>

- ・食品の販売、試食・試飲をされる場合、会場であるKITTE管理責任者及び管轄の保健所に運営・衛生上の観点から商品ごとに事前許可をとる必要があります。個別の確認が必要になりますので、**販売・試食・試飲を希望される方は、応募の前に必ず事務局に提供希望の商品並びに提供方法、衛生管理方法についてご連絡ください。**

・会場内に水道・火器等の設備はございませんので、調理を伴う食品の販売・試食はお断りします。

・会場となるKITTEには多数の飲食テナントが入居しています。万一、本展示商談会に起因する食中毒が発生した場合、すべての飲食テナントが営業停止となり、その間の休業補償と信用毀損に対する賠償を主催者に求められる可能性があります。食中毒を発生させた出展者には、主催者に請求された全部又は一部の賠償額を請求致しますのでご了承ください。

<危険物の持ち込みについて>

会場内への危険物の持ち込みを厳に禁止します。また、当会場内での火気(裸火)の使用を禁止します。

<その他>

- ・出展者説明会に必ずご出席ください。また出展者には、効果的な展示方法や首都圏での商慣行などを学ぶ勉強会を案内する場合があります。合わせてご参加頂きますようお願いいたします。
- ・主催者は、災害をはじめとした不可抗力により、会期の変更・開催の中止によって生じた出展者及び関係者の損害は補償しません。

お申し込みいただいた時点で、本出展募集の各項目についてすべて同意頂いたものとします

13

京都知恵産業フェア「展示販売会」

問い合わせ

◆応募申請に関するお問い合わせ／提出先

京都知恵産業フェア実行委員会事務局（京都産業育成コンソーシアム内）

〒604-0862

京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所ビル6F

TEL 075-211-1880 FAX 075-211-1881

提出先メール:kyoto-conso@kyo.or.jp

～琳派400年記念～

京都知恵産業フェア2015

出展事業者募集説明会のご案内

京都知恵産業フェア実行委員会（京都府、京都市、京都商工会議所、（公社）京都工業会、（公財）京都産業21、（公財）京都高度技術研究所）では、京都の伝統や文化を背景に、独創性、先駆性、高品質性など知恵を活用した商品やサービスを、世界中の商品が集まる消費・流通の一大中心地、首都圏において、京都の総力を挙げてバイヤーや消費者に提供する催し、「京都知恵産業フェア2015～琳派400年記念～」を実施いたします。この度出展事業者募集説明会を開催いたしますので、お知らせいたします。

これまで行政や経済団体が独自に首都圏で開催してきた販路開拓支援事業を、オール京都の視点で再構築し、首都圏のバイヤーや一般消費者に強力にアプローチする、初めての試みに、首都圏での販路開拓に取り組む多くの事業者様の積極的なご参加をお待ちしています。

【日 時】平成27年6月1日(月) 午後3時30分～5時

【場 所】京都商工会議所（3階）講堂

【定 員】300名※定員になり次第締め切ります【参加費】無 料

【内 容】事業概要のご説明並びに出展事業者募集のご案内

【お申込み・お問合せ】京都知恵産業フェア実行委員会事務局（京都産業育成コンソーシアム内）

TEL/075-211-1880 E-mail/kyoto-conso@kyo.or.jp

※お申し込みの際は、下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ、京都知恵産業フェア実行委員会事務局（FAX:075-211-1881）まで送信してください。

メールでのお申し込みは①氏名②会社名③役職④所在地⑤TEL⑥FAXをご記入の上ご連絡ください。

Webでのお申し込みはこちら⇒http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_100845.html

【主催】京都産業育成コンソーシアム 京都知恵産業フェア実行委員会

＜京都府、京都市、京都商工会議所、（公社）京都工業会、（公財）京都産業21、（公財）京都高度技術研究所＞

京都知恵産業フェア2015
事業概要

会期：平成27年11月5日（木）6日（金）＜BtoB 展示商談会＞

平成27年11月7日（土）8日（日）＜BtoC 展示販売会＞

会場：東京丸の内KITTE 詳細：<http://www.kyoto-conso.jp/news/003680.html>

京都知恵産業フェア2015 出展事業者募集説明会 参加申込書
FAX:075-211-1881

申込み締切日：平成27年5月27日(水)

京都知恵産業フェア実行委員会事務局 行

ふりがな 参加者氏名	所属(会社名等)・役職	
所属所在地 〒		
TEL:	FAX:	E-mail

※お申し込みのうえ、直接会場にお越しください。参加証等は発行いたしません。定員オーバーのため参加不可の場合のみ、連絡させていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、本事業以外には使用いたしません。

国内販路開拓プロジェクト 参画事業者募集について

京都商工会議所

京都の伝統的な技術や素材、デザイン、知恵などを活用した商品の開発と市場開拓を図るため、国内市場に向けた販路開拓事業を実施いたします。

つきましては、参画事業者を下記のとおり募集し、個別面談(選考)を行います。参画ご希望の方は別紙の応募用紙に必要事項を記入の上、**6月9日(火)17時**までに FAXまたはメールにてお送りいただくか、事務局までご持参ください。

■個別面談：2015年6月17日(水)・18日(木) 9:00~18:00の内15分間程度

- ※ 個別面談の時間は締切り後追ってご連絡いたします。
- ※ 個別面談時に自社の強みや技術が分かるようなパンフレット、商材などの資料をご持参ください。
- ※ 説明会・個別面談にご参加いただいた場合でも、本事業の商品開発コンセプトと合致しない場合には、参画をお断りする場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 行政・支援機関等の補助金をすでに採択・申請されている場合でも、当事業への応募は可能ですが、事前にご相談下さい。

■プロジェクト概要

開催趣旨	京都のものづくりや伝統的な技術・素材を活かした商品を開発し、首都圏において情報発信します。
専門家	コーディネーターのもと、デパート等流通業界、通販業界、メディア戦略に通じたアドバイザーとデザイン分野の一線で活躍するデザイナーにより、商品開発・販路開拓をサポート
出展概要	会期:2016年2月3日(水)~5日(金) ※2月2日(火)に搬入作業あり 会場:首都圏の見本市(第81回東京インターナショナルギフトショー春2016)を想定 展示ブース:共同(参画事業者の個別展示ブースはしつらえません。) 展示計画、展示品等:詳細は本事業のコンセプトにあわせて協議・決定します。
実施スケジュール(予定)	2015年6月 参画事業者選考、参画事業者決定、商品開発開始 6月~11月 商品開発指導 11月上旬 京都知恵産業フェア(東京) 出展 12月 商品完成、プレス発表、パンフレット製作(写真撮影) 2016年2月 展示商談会(東京) 出展 3月 " (京都) 出展

■募集の概要

参画事業者	上記の事業コンセプトに賛同し、熱意をもって取り組んでいただける京都府内の事業者を募集。事業全体の商品構成等を考慮し、プロジェクトスタッフとの個別面談を行った上で、参画事業者を選考します。※新規の応募者を優先いたします。
審査基準	・京都ブランドの発信にふさわしい内容か。 ・市場に合った適正価格を意識してものづくりができるか。 ・プロジェクト後も独自で商品開発や販路の開拓を継続する意志があるか。 ・参画事業者として、展示商談会・会議等への出席が可能か。
募集事業者	18社程度 ※参画事業者を対象とした全体会議にご参加いただきます。(年4回程度) ※展示会にご参加いただき、実際にブースにて商品説明や商談の対応をしていただきます。
参加料	1社あたり25万円(消費税込) ※商品開発指導費、販路開拓指導、展示会出展料(什器・施工の基本セット)、PR ツール(DM、パンフレット、WEB等)への掲載は含まれます。 ※商品開発に係る製作費、展示に係る商品の輸送費、交通費など、上記参加料に含まれない経費は参加者負担。
留意事項	○参画にあたっては、別途定める覚書を締結していただきます。 ○開発商品の販売および販売促進活動に関しては、別途定める規定の遵守をお願いします。 ○共同開発にあたっては、関係者間で役割分担や権利等に関する契約を別途結んでいただきます。

■お問合せ

京都商工会議所 産業振興部 (担当:大竹・堀口) 〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル
TEL: 075-212-6450 FAX: 075-255-0428 E-Mail: shinkou@kyo.or.jp